

評価項目	本年度の活動(具体的な手立て)と指標	学校関係者評価	今後の改善点
健康・安全・体力向上	<p>1 体力向上 →体力テスト                      2 命の教育・交通安全教育・防災防犯教育                      →児童アンケート                      →避難訓練回数                      5 食育・アレルギー対応 →食育授業</p> <p>(成果と課題) 達成状況を含む</p> <p>1 体力向上                      ○全校で50m走の記録をとった。各学年独自に「シャトルラン」「反復横跳び」を実施した。「走」を中心とした授業を多く取り入れたこともあり、男子、女子ともに4つの学年がそれぞれの学年の目標値を上回る結果となった。</p> <p>2 命の教育・交通安全教育・防災防犯教育                      ○感染症予防のため、学校全体で交通安全教室は行わなかったが、長期休業前に各学級で交通安全指導を行った。                      ○交通事故はなかった。来年度は交通安全教室を実施する。                      ○避難訓練については2学期、3学期に学級単位で行った。                      ★児童アンケート「交通安全に気を付けているか」                      →「はい」「どちらかといえばはい」95%                      ★保護者アンケート「学校の安全確保への努力」                      →「はい」「どちらかといえばはい」90%</p> <p>3 食育・アレルギー対応                      ○食育の年間計画を作成し、栄養教諭と日程調整を行い実施した。学級通信、学校だよりで食育の大切さを啓発した。                      →各学年食育の授業、給食指導 年2回実施                      ○アレルギー対応児童について全教職員で情報共有をし、研修を行った。新規アレルギー対応児童については支援会議を行った。                      →食物アレルギー ヒヤリハット事例 0件</p>	<p>・目標値を達成できて評価できる。                      ・体力向上の目標値も大事だが、コロナ禍でこれだけできたことは評価できる。</p> <p>・交通安全教育は気が緩んだ時こそ大切だと思うので、来年度の実施検討は良い。</p> <p>・アレルギー対応は万全であった。                      ・アレルギーヒヤリハット0件は素晴らしい。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症が落ち着いていたら全校で体力調査を行い、結果の分析から児童が楽しく体を動かす取組を行う。</p> <p>・R3年度は体育館が広くなったので、体育館で交通安全教室(全校)、防犯教室(1, 2年)を実施する。                      ・防災教育は避難訓練実施(年3回)と防災授業を行う。                      ・4～6年生対象にモバイル教室を実施する。                      ・R3年度は引き渡し訓練も行う。</p>
働きやすい環境づくり	<p>1 会議の時間短縮                      →60分以内に終了する会議の割合                      2 時間外労働時間の短縮                      →月45時間・年360時間を超える職員数                      →定時退校日の設定                      3 休暇取得日数                      →一人あたりの休暇取得日数</p> <p>(成果と課題) 達成状況を含む</p> <p>1 会議の時間短縮                      ●会議に時間短縮に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症対策に関わって討議したり共通理解したりすることも多かった。                      →60分以内で終了する会議 50%</p> <p>2 時間外労働時間の短縮                      ○スクールサポートスタッフを活用し、業務の優先順位を考え、効果的効率的な仕事への意識改革を行い、総勤務時間縮減に繋がった。                      ○月2回の定時退校日の設定により、時間外労働時間を縮減できた。                      →月45時間を超える職員数 0人                      →定時退校デー 月2回 100%</p> <p>3 休暇取得日数                      ●夏季休暇の短縮により、勤務日が増加し、年間における休暇取得日数の増加に繋がらず、休暇取得は減少した。                      →一人あたりの休暇取得日数 昨年度比-9時間</p>	<p>・会議は効率よく進める必要があり、1時間で終了できるよう改善する必要がある。(司会者の推進力)                      ・PTAの会議も回数を減らし、先生方の負担を減らすため、Zoom会議などを導入していくと良い。使い慣れるとメリットばかりである。</p> <p>・判定基準を明確にして積極的な取組をすべき。休暇取得はある意味最も重要な取組課題。</p>	<p>・校務分掌を見直し、効率的な会議運営を目指す。</p> <p>・R3年度は一人あたりの休暇取得日数の増加を促すために管理職は声をかける。</p>